



辻小学校だより

学校教育目標

○学ぶ子（知） ○やさしい子（徳） ○元気な子（体）



変化に対応できる能力を育てる
～Society5.0を逞しく生きるために～



校長 近藤 百合

3学期も気付けば半分が過ぎました。次の学年への準備も2ヶ月を切っています。年の初めに「3学期は次の学年への準備期間なので、今の学年のまとめをしっかりして次の学年に向けての準備をしましょう」とお話をしましたが、子供たちはどうでしょうか。2月は1年の中でも一番日数が少ない月です。節分の鬼を追い出すように「心の中の悪い鬼を追い出し、前向きになれるように」子供たち一人一人に頑張ってほしいです。

さて、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）という人類がこれまで歩んできた社会に次ぐ、5番目の新たな社会をSociety5.0といいます。この言葉は2016年閣議決定された「第5期科学技術基本計画」で提唱され、情報化が進んだSociety4.0が抱える課題を克服し、より豊かで持続可能な社会を目指すという意味で使われています。この新たな社会は、デジタル革新とイノベーションを活用することで実現するといわれています。

令和に生きる子供たちは、生まれたときからパソコンやスマートフォンなどが身近にあり（デジタルネイティブ世代）、インターネットを使ったゲームや通信などを自由自在に使いこなして成長していきます。映像も簡単に手に入りやすく、自らの興味・関心に応じてさまざまな知識を身に付けることができます。

一方で、信頼性の低い情報をうのみにしたり、顔が見えない相手との通信等で危険な状況に追い込まれたり、通信方法を間違えて大切な友達からの信頼を失ったりしたと負の部分も多くなります。さらに多くの人と話し合い協働することが苦手で、知識はあるがコミュニケーションがうまく取れず、人間関係を築く力が身に付かずに入くなってしまうということも心配されます。

令和の時代はこれまでに人類が培ってきた文化や伝統に加え、新たな価値観やものが次々に作り出されることでしょう。まさにAIの出現によって私たちの生活そのものが予想をはるかに超えるスピードで今後も変化していくことが考えられます。

こうした時代を生きる子供たちには、コミュニケーション能力と自らの考えを発信できる言語力（日本語や外国語）が必要です。そのために多くの体験を通して、確実な知識や技能を身に付け、様々な人と関わり、価値観や考えに触れ、深く考えることが大切です。

これまでの教育で培ってきた良さを継承し、新しい環境の中で子供たちが逞しく幸せに生きていくために必要な能力を育成していくことを思っています。

辻小学校のホームページを是非、ご覧ください。

学校の教育活動等隨時、更新しております。「辻小学校」で検索いただくか、右のQRコードからも、閲覧することができます。

子供たちの日常的な学習の様子もご覧ください。

学校ホームページ <http://tujisyou.official.jp/>

